



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」



高岡市立戸出東部小学校
令和7年6月2日発行

「問いかける」

教務主任

新年度が始まって2か月、子どもたちは新しい環境の中で日々成長を重ねています。今回は、池上正さんの著書『叱らず、問いかける』を基に、子どもたちの自立心を育てるための関わり方について考えてみたいと思います。自立心とは、「自分で考え、選び、責任をもって行動しようとする心構え」です。池上さんは、子どもを「叱る」のではなく、「問いかける」ことで、内面からの気付きと行動の変容を促すことができると説明しています。たとえば、忘れ物をした子どもに「なんで忘れたの!」と叱るのではなく、「どうしたら次は忘れずに済むかな?」と問いかけることで、子ども自身が原因を考え、対策を立てる力を育てることができます。失敗を学びに変えるということです。大人が先回りして指示や答えを与えるのではなく、子どもが自分で考え、自分の行動に責任をもつ経験を積むことが、自立への第一歩となります。

また、問いかけには「信じる姿勢」が必要です。「この子はきっと自分で考えられる」と信じて待つことは、時に大人にとっても忍耐が必要ですが、その信頼こそが子どもにとっての大きな励みになります。家庭でも、ぜひ「問いかける関わり」を意識してみてください。学校と家庭が一体となって、子どもたちの「自ら育つ力」を支えていけたらと願っています。

参考文献 池上正 (2013) 『叱らず、問いかける—子どもをぐんぐん伸ばす対話力』 廣済堂出版 (ファミリー新書)

ALT ミランダ先生との外国語学習

外国語担当

今年度、毎週木曜日に戸出中学校にも勤務されている ALT のミランダ先生が外国語学習の指導にいられています。高岡市の姉妹都市であるフォートウェーン市がミランダ先生のふるさとです。5月末に先生のふるさと紹介を高学年児童が聞く機会がありました。画像を手掛かりに15分、英語をじっくり聞いてミランダ先生のふるさとフォートウェーン市について理解することができました。

そのときの児童の感想を紹介します。

- ・ 自然が豊かで食べ物がおいしそうだった。リンゴ狩りを体験してみたと思った。
- ・ 日本での生活や小中学校で英語を教えている様子がフォートウェーン市の地元テレビ局で取り上げられたと聞いて驚いた。高岡のことを伝えてもらえてうれしい。
- ・ 日本人の画家が獅子舞をテーマに描いた「ライオンダンス」という壁画アートの話が印象に残った。海外で活躍する日本人の姿が目についた。自分も挑戦してみたい。

